

製品安全データシート

作成：2016年11月10日

1. 化学物質等及び会社情報

| | |
|-----|--|
| 製品名 | SP用濃縮リン酸緩衝液 pH7.2 |
| 会社名 | シスメックス株式会社 |
| 所在地 | 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 |
| 連絡先 | シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL：(078) 991-1911 (代表) FAX：(078) 991-1917 |

2. 危険有害性の要約

| | |
|-----------|-------|
| GHS 分類の記載 | |
| 物理化学的危険性 | 該当しない |
| 健康に関する有害性 | |
| 急性毒性（経口） | 区分外 |
| 環境に対する有害性 | 該当しない |
| GHS ラベル要素 | |
| GHS 絵表示 | 該当しない |
| 喚起語 | 該当しない |
| 危険有害性情報 | 該当しない |
| 注意書き | 該当しない |

3. 組成・成分情報

| | |
|-----------------|-------|
| 単一製品・混合物の区分 | 混合物 |
| 化学的特性に関する情報 | 水溶液 |
| 危険有害成分 | |
| 化学名又は一般名 濃度（範囲） | 該当しない |
| 化学式 | 該当しない |
| CAS 番号 | 該当しない |

4. 応急措置

| | |
|-------------|---|
| 吸入した場合 | 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、診断、手当てを受けること。 |
| 皮膚に付着した場合 | 皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 目に入った場合 | 直ちに多量の水で15～20分以上眼を洗う。直ちに医師の診断、手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | 口をすすぐ。直ちに医師の診断、手当てを受けること。 |
| 応急措置をする者の保護 | 情報なし |

5. 火災時の措置

| | |
|-----------|------------------------------------|
| 消火剤 | 周辺火災に応じて適切な消火剤（水）を用いる。 |
| 消火を行う者の保護 | 消火作業の際は、周辺火災に応じて空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。 |

| | |
|-----------------------------|--|
| 6. 漏出時の措置 | |
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 | 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。作業者は適切な保護具（8. 暴露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 |
| 環境に対する注意事項 封込め及び浄化の方法・機材 | 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。乾燥砂、オガクズ、ウエス等で吸収し、密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。大量の場合、液体の前方にせきを作り、後で廃棄する。 |

| | |
|-----------------------|--|
| 7. 取扱い及び保管上の注意 | |
| 取扱い | |
| 技術的対策 | 特になし |
| 安全取扱い注意事項 | 眼、皮膚との接触を避けること。飲み込みを避けること。取扱い後はよく手を洗うこと。 |
| 保管 | |
| 適切な保管条件 | 2～35℃で直射日光・粉塵等を避けて保管する。天地無用。 |
| 容器包装材料 | 密閉式の破損しないものに入れる。 |

| | |
|----------------------|--|
| 8. 曝露防止及び保護措置 | |
| 管理濃度 | 未設定 |
| 許容濃度 | |
| 日本産業衛生学会 | 情報なし |
| A C G I H | 情報なし |
| 設備対策 | 空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。工程で蒸気、ヒューム、ミスト、粉じんが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。 |
| 保護具 | |
| 呼吸の保護具 | 換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。 |
| 手の保護具 | 適切な手袋（ゴム）を着用すること。 |
| 眼の保護具 | 適切な保護眼鏡を着用すること。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 適切な保護衣を着用すること。 |

| | |
|----------------------|--------------|
| 9. 物理的及び化学的性質 | |
| 物理的性状、形状、色など | 無色～淡黄色澄明の液体 |
| 臭い | ほぼ無臭 |
| pH | 6.8 |
| 引火点 | 不燃性 |
| 比重（相対密度） | 1.038（20/4℃） |
| 溶解度 | 水に可溶 |

| | |
|---------------------|-----------------------|
| 10. 安定性及び反応性 | |
| 安定性 | 通常の条件においては安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | 通常の条件では危険有害な反応は起こらない。 |
| 避けるべき条件 | 情報なし |
| 混触危険物質 | 情報なし |
| 危険有害な分解生成物 | 情報なし |

| | |
|-------------------|---|
| 11. 有害性情報 | |
| 急性毒性 | 情報なし |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 情報なし |
| 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 | 情報なし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 情報なし |
| 生殖細胞変異原性 | 情報なし |
| 発癌性 | 情報なし |
| 生殖毒性 | 情報なし |
| 特定標的臓器毒性（単回曝露） | 情報なし |
| 特定標的臓器毒性（反復曝露） | 情報なし |
| 吸引性呼吸器有害性 | 情報なし |
| 12. 環境影響情報 | |
| 水生環境急性有害性 | 情報なし |
| 水生環境慢性有害性 | 情報なし |
| 13. 廃棄上の注意 | |
| 残余廃棄物 | 法令及び各都道府県の条例等に従って適切に処理する。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 |
| 汚染容器及び包装 | 内容物を除去した後、法令及び各都道府県の条例等に従って適切に処理する。 |
| 14. 輸送上の注意 | |
| 国際規則 | |
| 国際航空機輸送協会危険物規則 | 該当しない |
| 国際海上危険物規則 | 該当しない |
| 国内規制 | |
| 陸上「鉄道／道路」 | 該当しない |
| 内陸水路 | 該当しない |
| 輸送の特定の安全対策及び条件 | 輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。天地無用。 |
| 15. 適用法令 | |
| 適用される法規制 | 該当しない |
| 16. その他の情報 | |
| 一般的注意 | ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。 |